



レスポンシブル・ケア活動

レスポンシブル・ケア (RC) とは

レスポンシブル・ケア (RC) とは、化学物質を扱う企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全ての過程において、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、活動の成果を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行う活動のことです。“市民の知る権利を尊重し、市民の不安に耳を傾け、対話による解決を目指す。そのために法律以上のことを

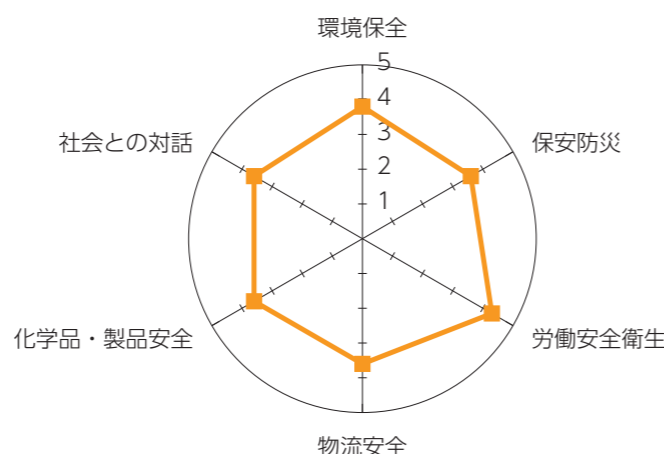
自主的に行おう、倫理的に正しいことをしよう”という考えに基づき、実施すべき具体的項目(コード)として「環境保全」、「保安防災」、「労働安全衛生」、「物流安全」、「化学品・製品安全」、「社会との対話」の6つが挙げられます。これに加え、組織的に実施するためのマネジメントシステムがあります。

RC 活動 2016 年度の評価

RC 実施報告 / 計画書の内部監査評価表 (日本化学工業協会へ提出) をグラフにしました。

2016 年度の主な活動実績は以下となります。

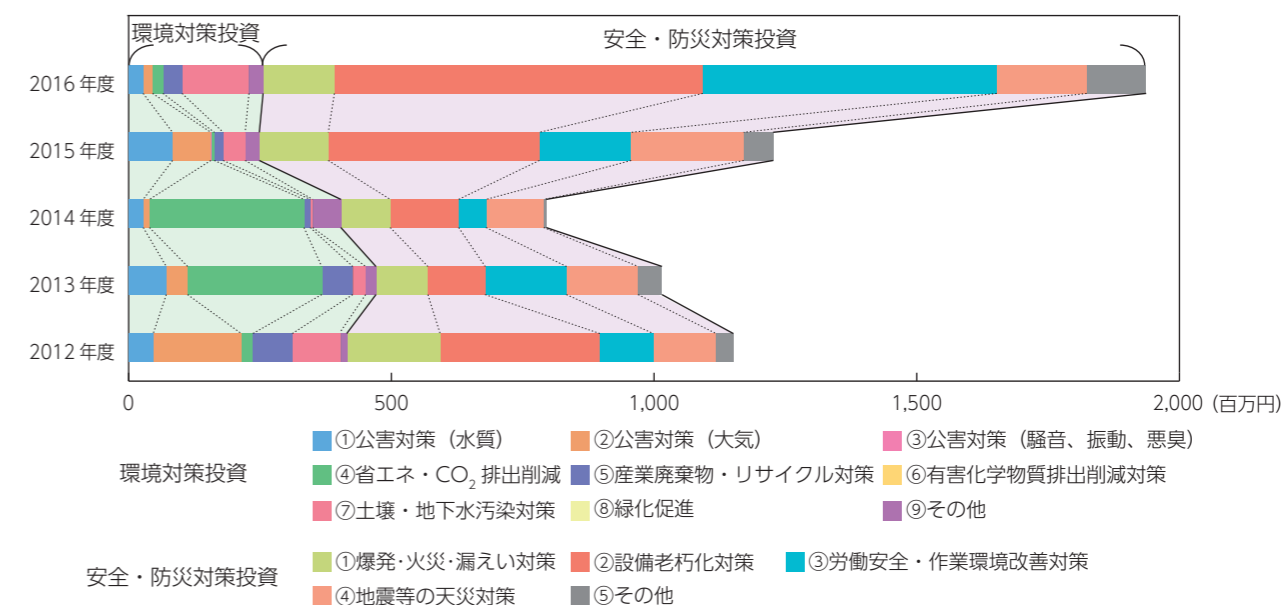
- ◆ エネルギー原単位前年比 1%以上削減達成 [環境保全] (P.14 参照)
- ◆ 工場・研究所の定期的な見学会を開催 [社会との対話] (P.23 参照)



環境対策および安全・防災対策への投資額の推移

中央研究所のほか、大半を四日市工場への投資に充てています。その「環境対策投資金額」および「安全・防災対策投資金額」の推移をグラフに示します。2016 年度は、環境対策として「土壌・地下

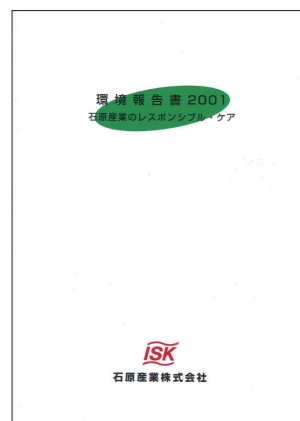
水汚染対策」への投資、安全・防災対策として「設備老朽化対策」と「労働安全・作業環境改善対策」への投資を重点的に行いました。



CSR 報告書 全面リニューアル

当社は、2001 年より環境報告書を発行していましたが (フェロシルト等問題により一時中断)、2012 年からは CSR 報告書に表題を改めて、現

在に至っています。CSR 報告書 2017 ではページ数を削減し、ビジュアル表現を多用しました。



環境報告書 2001



CSR 報告書 2017 と RC データ集 (HP のみ)

RC データ集のお知らせ

これまで掲載してきたデータの一部は、RC データ集として当社 HP に掲載しています。

石原産業 CSR 報告書

検索

RC TOPICS

宅地化と向き合う中央研究所の取組み

中央研究所の隣接地域の宅地化が進み、周辺で子供たちの遊ぶ姿が見られるようになりました。このような状況を受け、これまで以上に地域に配慮した取組みを行っていく必要性があります。こうした事情を背景に、2016 年 4 月に草津市と「環境保全に関する協定書」を締結

し、大気、水質、騒音・振動、悪臭などについて、関係法令や条例で定められた規制値より厳しい数値を設定しました。この数値を守るべく、研究員たちは環境負荷を少なくする工夫をしながら、日々研究を行っています。

